

事務事業名	学校施設開放事業（真壁）	事務事業No.	30402000091	所属課	スポーツ振興課
-------	--------------	---------	-------------	-----	---------

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 昭和50年スポーツ少年団の活動場所の確保。市民の体づくり・健康づくりと地域のコミュニケーション促進を目的に開放された。	
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 備品の充実	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	小中学校の体育施設の貸出で、市民が体育施設を利用してスポーツを楽しむようになることによって、結果のスポーツを行える場所の確保、スポーツを楽しむ機会の増加に結びつく。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称） <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	市民が市内にある施設を利用できることは、利便性が高くスポーツを楽しむ機会と体づくり、健康増進につながり、税金を投入するのは妥当である。
	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？） <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	無駄のない施設利活用のための利用調整の精度を上げることで、向上の余地がある。
有効性	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？） <input checked="" type="checkbox"/> 影響有	市民がスポーツを実践する機会が失われる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	類似事業がない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？） <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	事業費は管理人に対する、賃金が大きく占めている。管理方法について、住民の協力などが得ることができれば事業費の削減は可能であるが、困難である。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある	学校施設利用については無料となるが、他の体育施設については有料となるため施設の利用、管理を含め、今後見直しを行う。（学校開放委員への委嘱）

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	市民がスポーツを実践し、地域のコミュニケーションの場となり、健康増進につながっている。無駄のない施設の利活用ができるよう利用調整の精度を上げる。管理員の雇用契約方法を改善し、管理体制の見直しをすることも経費削減の方法につながる。施設利用は市民誰もが利用でき、利用料金は、無料である。																						
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
(3) 今後の事業の方向性																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策 無駄のない施設の利活用ができるための利用調整の精度を上げる。 管理体制とその方法の見直し。 学校施設は、既存の利用団体がほぼ固定化されており、新規登録団体が使用しにくい環境にある。そこで、施設利用の公平性等の観点から、利用団体間で協議し調整を図り公平な利活用を実現する。		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持			×																				
	低下			×																				
		(6) 事務事業優先度評価結果																						
		成果優先度評価結果	③																					
		コスト削減優先度評価結果	⑨																					

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>